

第31回大気化学討論会

会期：2026 年 10 月 14 日(水)～10 月 16 日(金)

会場：東北大学片平キャンパス片平さくらホール (仙台市青葉区片平)

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/>

懇親会：2026 年 10 月 15 日(木) 18:00～20:00

仙臺緑彩館 (仙台市青葉区川内追廻) <https://parks-aobayama.jp>

大会実行委員：森本真司*・村田功(東北大学), 梅澤拓(東北大学・国立環境研究所),

菅原敏(宮城教育大学), 町田敏暢(広島大学・国立環境研究所),

佐伯田鶴(国立環境研究所), 石戸谷重之・亀崎和輝(産業総合技術研究所),

後藤大輔(国立極地研究所), 藤田遼(気象庁気象研究所)

プログラム委員：石野咲子(金沢大学), 山地一代(神戸大学), 梅澤拓(東北大学), 江波進一(筑波大学)

プログラム概要

	午前		午後	夕方
14(水)			□頭セッション (招待1件)	ポスターセッション
15(木)	□頭セッション	会員集会/受賞講演	□頭セッション (招待1件)	懇親会
16(金)	□頭セッション	学生賞表彰・閉会		

□頭発表

- ・1 件あたりの講演時間は、ショート 15 分(発表 10 分+質疑 5 分)、ロング 25 分(発表 18 分+質疑 7 分)です。
- ・発表用の PC は各自でご準備をお願いします。□頭発表会場にはノート PC(Windows のみ)を用意しますので、必要に応じてご相談下さい。
- ・発表に使用するプロジェクタとご自分の PC は、RGB もしくは HDMI で接続して頂きます。必要に応じて変換コネクター (USB-C-HDMI 等) などをご準備下さい。
- ・発表前の休憩時間などに、ご自身の PC とプロジェクタの接続確認をお願いします。

ポスター発表

- ・ポスターボードのサイズは、縦 166 cm×横 113 cm または縦 210 cm×横 90 cm 程度です。2 種類のボードサイズが混在しますが、どちらにも対応できるようご準備ください。
- ・ポスターセッションのコアタイムは以下のとおりです。
 - 10 月 14 日 16:45～17:45：奇数番号の発表を中心に実施
 - 17:45～18:45：偶数番号の発表を中心に実施
- ・ポスターは、10 月 14 日 12:15～10 月 16 日 12:00 の間、掲示可能です。
- ・固定に必要な画鋲等は事務局で用意します。

第31回大気化学討論会（2026）口頭発表プログラム

1日目:10月14日(水)							
時間		講演番号 (★:学生賞 対象者)	発表形態	タイトル	発表者		座長
12:15	~	開場・受付					
12:45	13:00	開会挨拶・LOCアナウンス					
口頭発表①:リモートセンシング/装置開発							
13:00	13:15	★O1-01	ショート	A-SKY/MAX-DOASによる大気下層水蒸気観測を用いたメソ解析水蒸気データの検証	大塚 涼平	千葉大学	竹谷文一 (海洋研究開発機構) 長浜智生 (名古屋大学)
13:15	13:30	★O1-02	ショート	A-SKY/MAX-DOASとGNSSによる大気下層水蒸気の広域推定と首都圏の水平不均一性の通年統計	溝渕 隼也	千葉大学	
13:30	13:45	★O1-03	ショート	Pandora地上リモートセンシングNO ₂ データの検証	石井 澄伶	茨城大学	
13:45	14:00	★O1-04	ショート	2122 nm波長帯キャビティリングダウン分光法による低濃度水素計測	村上 達希	東京大学	
14:00	14:15	★O1-05	ショート	液相スクアレンと気相オゾンの不均一反応で発生する気相OHラジカルのin-situ検出	田村 優弥	筑波大学	
14:15	14:30	休憩					
口頭発表②:室内実験							
14:30	14:45	★O1-06	ショート	微小水滴エアロゾル表面に水和電子及びオゾンは生成するか？	黒川 啓	筑波大学	内田里沙 (日本自動車研究所) 坂本陽介 (国立環境研究所)
14:45	15:00	★O1-07	ショート	水/鉱物・表面光反応で生成したOHラジカル直接検出:ゲージサイトの個別評価と高精度化へ向けた装置改修	柳沼 恭介	東京大学	
15:00	15:15	★O1-08	ショート	アスコルビン酸と過酸化水素の反応機構の再検討:反応速度論および生成物に関する研究	清水 諒	筑波大学	
15:15	15:30	★O1-09	ショート	微小水滴エアロゾル表面におけるプロトン移動反応メカニズム	小杉 健斗	筑波大学	
15:30	15:45	★O1-10	ショート	Kinetic Investigation of Spontaneous OH Radical Formation in NaCl and NaNO ₃ Microdroplets	桑本 悠	中央大学	
15:45	16:00	休憩					
特別セッション							
16:00	16:30	S1-01	招待講演	隣の惑星、火星金星の大気化学: 探査機観測と浮遊微小液滴実験から	中川 広務	東北大学	村田功 (東北大学)
16:30	16:35	LOCアナウンス					
16:35	16:45	休憩					
16:45	18:45	ポスターセッション (16:45~17:45奇数番号、17:45~18:45偶数番号)					

第31回大気化学討論会（2026）口頭発表プログラム

2日目:10月15日(木)								
時間		講演番号 (★:学生賞 対象者)	発表形態	タイトル	発表者		座長	
8:40	~	開場						
8:55	9:00	LOCアナウンス						
口頭発表③: フィールド観測/短寿命成分								
9:00	9:15	★O2-01	ショート	ヨウ化物イオンとα-テルピネオール共存水溶液のオゾン酸化反応	水野 雄太	筑波大学	板橋秀一 (九州大学) 速水洋 (早稲田大学)	
9:15	9:30	★O2-02	ショート	2009-2023年度の東京湾周辺地域におけるメタン濃度変動要因	古藤 千寛	神戸大学		
9:30	9:45	★O2-03	ショート	A-SKY国際観測網で観測された光吸収性エアロゾルの時間変動	阿部 直斗	千葉大学		
9:45	10:00	★O2-04	ショート	都市大気における地表近傍ブラックカーボンの湿性除去の定量的評価	神谷 義一	千葉大学		
10:00	10:20	休憩						
日本大気化学会 会員集会・奨励賞記念講演等								
10:20	11:20	会員集会・奨励賞授与式・記念講演						
11:20	12:50	昼休憩						
特別セッション								
12:50	13:20	S2-01	招待講演	氷期-間氷期の気候変動に対する北太平洋の役割: 海洋の動態と海水組成からの新展開	高柳 栄子	東北大学	森本真司 (東北大学)	
13:20	13:35	休憩						
口頭発表④: 長寿命ガス								
13:35	13:50	O2-05	ショート	大阪国際空港周辺CO ₂ 動態における航空機の影響	河野 光彦	関西学院大学	石島健太郎 (気象庁) 奈良英樹 (国立環境研究所)	
13:50	14:05	O2-06	ショート	民間航空機による次世代の上空CO ₂ 観測 ~機体改修後CONTRAILの最新報告~	藤田 遼	気象研究所		
14:05	14:20	O2-07	ショート	地上と航空機で観測された対流圏Δ ¹⁴ CO ₂ の時空間変動	寺尾 有希夫	国立環境研究所		
14:20	14:35	O2-08	ショート	GC-IRMSを用いた高感度の硫化カルボニルの硫黄安定同位体比分析法の開発	亀崎 和輝	産業技術総合研究所		
14:35	14:50	O2-09	ショート	Direct Calculation of Atmospheric Sulfur Isotope Effects Using the Isotope Enabled PATMO Model	Li Yuanzhe	上智大学		
14:50	15:10	休憩						
口頭発表⑤: 長寿命ガス								
15:10	15:25	O2-10	ショート	北西太平洋域の中部対流圏におけるCO ₂ , CH ₄ , CO, N ₂ O濃度の季節変化	永井 康之	気象研究所	稲飯洋一 (気象庁) 長谷川朝香 (産業技術総合 研究所/ 東京大学)	
15:25	15:40	O2-11	ショート	GOSAT-GW/TANSO-3精密モード観測によるXCH ₄ ブルーム検出と排出量推定	染谷 有	国立環境研究所		
15:40	15:55	O2-12	ショート	酸素濃度の観測スケール統一と過去四半世紀の全球CO ₂ 収支の推定	石戸谷 重之	産業技術総合研究所		
15:55	16:10	O2-13	ショート	大気中Ar/N ₂ 比の3次元数値シミュレーション	菅原 敏	宮城教育大学		
16:10	16:35	O2-14	ロング	大気中Ar/N ₂ 比の絶対スケールの構築	青木 伸行	産業技術総合研究所		
16:35	16:40	LOCアナウンス						
17:00	18:00	移動						
18:00	20:00	懇親会@仙臺緑彩館						

第31回大気化学討論会（2026）口頭発表プログラム

3日目：10月16日（金）							
時間		講演番号	発表形態	タイトル	発表者		座長
8:40	～	開場					
8:55	9:00	LOCアナウンス					
口頭発表⑥：モデリング							
9:00	9:15	O3-01	ショート	硝酸ガスのモデル再現性とプロセス解析による誤差要因の推定	板橋 秀一	九州大学	秦寛夫 (産業技術総合研究所) 森野悠 (国立環境研究所)
9:15	9:30	O3-02	ショート	Physics-Informed Neural Networks for Trace-Gas Emission Inversion: A Feasibility Study for Future GOSAT Observation Missions	Kong Kaman	国立環境研究所	
9:30	9:55	O3-03	ロング	大気VOC酸化反応解析のための詳細反応モデルの構築：プロピレンへの適用	藤田 道也	東京大学	
9:55	10:10	O3-04	ショート	相分解型抵抗モデルを用いた液液相分離エアロゾルへの反応性気体取り込みにおける反応分配解析	坂本 陽介	国立環境研究所	
10:10	10:25	休憩					
口頭発表⑦：短寿命・フィールド観測							
10:25	10:40	O3-05	ショート	NO-corrected reactivity ratios for ozone formation regime	Li Jiaru	海洋研究開発機構	石野咲子 (金沢大学) 佐藤圭 (国立環境研究所)
10:40	10:55	O3-06	ショート	グリーンランド南東ドームアイスコアから測定された過去220年黒色炭素の変動	上田 紗也子	名古屋大学	
10:55	11:10	O3-07	ショート	小笠原諸島父島での雨・エアロゾルの通年観測：大気中の栄養塩物質の季節性の把握	竹谷 文一	海洋研究開発機構	
11:10	11:25	O3-08	ショート	偏光マイクロパルスライダー画像の教師なし分類による南極昭和基地上空のエアロゾル輸送レジームの客観的同定	鈴木 香寿恵	明治大学	
11:25	11:40	休憩					
口頭発表⑧：装置・手法開発							
11:40	11:55	O3-09	ショート	航空機を用いた上空からのNO ₂ 空間分布観測	木名瀬 健	海洋研究開発機構	染谷有 (国立環境研究所) 藤田遼 (気象研究所)
11:55	12:10	O3-10	ショート	非対称電界イオン移動度スペクトロメーター(FAIMS)の大気中NH ₃ 測定への応用	中山 智喜	長崎大学	
12:10	12:25	O3-11	ショート	インドにおける温室効果ガスおよび大気質の衛星観測データ評価のための地上設置FTSシステムの構築	森野 勇	国立環境研究所	
12:25	12:40	O3-12	ショート	GOSAT-GWIによるNO ₂ 観測におけるエアマス因子計算の高速化	佐藤 知紘	情報通信研究機構	
12:40	13:00	閉会式・学生優秀賞の発表・表彰					

第31回大気化学討論会(2026)ポスター発表

発表コアタイム: 奇数番号: 10月14日16:45~17:45, 偶数番号: 10月14日17:45~18:45

ポスター番号 (★:学生賞対象者)	発表タイトル	発表者	所属
★P01	水相におけるゲラニオール由来ヒドロペルオキシドの分解反応メカニズム	柳澤 由奈	筑波大学
★P02	気液界面におけるアミンと反応するCriegee中間体のモニタリング	玉寄 英慈	東京大学
★P03	水相における β -iononeのオゾン酸化反応機構の研究	田代 亮太	筑波大学
★P04	植生起源二次有機エアロゾルの将来変化とその要因	阿部 駿也	名古屋大学
★P05	バイオマス燃焼エアロゾル成分とBVOCを含む微小水滴エアロゾルの不均一反応	Tan Yang	筑波大学
★P06	Dynamic Surface Tension of Atmospheric Aerosol-Derived HULIS: Concentration Dependence and Response to Ammonium Sulfate	Zhang Wenhan	名古屋大学
★P07	Observational Study of Temporal Variations and Sources of PM2.5 in a Forest Area in Western Thailand	Akaraparthanameitee Paveenuch	長崎大学
★P08	限外濾過法を用いた有機エアロゾルの分子量分布分析	北條 就三	名古屋大学
P09	芳香族炭化水素由来二次有機エアロゾルトレーサDHOPAの生成機構検証および類似トレーサ探索	佐藤 圭	国立環境研究所
P10	植食者誘導性植物揮発性物質は二次有機エアロゾルの重要な前駆物質か?	飯沼 賢輝	沖縄科学技術大学院大学
★P11	製鉄所閉鎖に伴う大気中磁性粒子の挙動変化: 環境磁気測定に基づく影響評価	古閑 健斗	京都大学
P12	名古屋の大気有機エアロゾルの光吸収分析	持田 陸宏	名古屋大学
★P13	東アジア風下地域における燃焼由来酸化鉄エアロゾルの発生源および季節傾向の調査	清土 拓路	京都大学
★P14	夏季西部北太平洋上低層雲における大陸起源黒色炭素エアロゾルの雲取り込み量の評価	北 佳	茨城大学
★P15	GOSAT-2/TANSO-FTS-2観測視野内雲判定の評価	廣瀬 誠史	千葉大学
P16	熱帯域の上部対流圏における新粒子生成が対流に及ぼす影響についての理想化実験	梶川 友貴	沖縄科学技術大学院大学
P17	化学輸送モデルによる関東地方でのエアロゾル数濃度推計	森野 悠	国立環境研究所
★P18	全球大気化学輸送モデルGEOS-Chemにおける遠隔域での硝酸エアロゾルの動態改善	中島 光貴	金沢大学
P19	温室効果ガス観測を用いた気象研大気モデルの輸送検証	石島 健太郎	気象庁
★P20	二次元マッピングによる関東域オゾン生成特性の地域差評価とその経年変化	武市 陸主	中央大学

P21	高解像度CO ₂ 輸送モデルSCALE-RM-CO2による東京都四谷のCO ₂ 濃度変動の再現性の検証	長谷川 朝香	産業技術総合研究所/ 東京大学
P22	Global Carbon Monoxide Budget Initiative: Preliminary Evaluation of MIROC-Chem Simulations and Inversions	Kumar Dash Uzzal	海洋研究開発機構
P23	小笠原諸島父島における大気リン酸塩のモデリング	関谷 高志	海洋研究開発機構
P24	MIROC-CHASERを用いたHTAP3のシミュレーション	池田 恒平	国立環境研究所
P25	大気化学輸送モデルを用いたベンガル湾における大気質濃度の再現性評価と南アジア排出量の検証	山地 一代	神戸大学
★P26	機械学習と衛星リモートセンシングデータを用いた大気汚染発生源因子の推定	亀元 あかね	上智大学
P27	GOSAT-GW TANSO-3 L2温室効果気体プロダクトの検証に向けた予備解析	木下 篤哉	国立環境研究所
★P28	北極圏における大気中N ₂ O安定同位体分子種の時空間分布の解明	横山 大地	東京科学大学
★P29	Drivers of Atmospheric $\Delta^{14}\text{C}$ Seasonal Variability during 1960s - 2020s Revealed by 3-Dimensional Transport Model Simulations	Chakraborty Uddalak	千葉大学
★P30	安定同位体比分析による都市大気中N ₂ Oの動態把握	郡 佑太	東京科学大学
P31	自作の持ち運び型小型大気計測器を用いた蒲郡市内の大気汚染物質の多成分同時の自転車移動計測(PM2.5, CO, CO ₂ , NO _x , O ₃)	藪下 彰啓	愛知工科大学
P32	カンボジア国シェムリアップにおける大気質日内変動の特徴	速水 洋	早稲田大学
★P33	サピエン酸のオゾンによる酸化反応の実験的解明	山口 哲也	筑波大学
P34	低温環境下における自動車排出ガスの二次生成ポテンシャル-ガソリン車とディーゼル車の比較-	内田 里沙	日本自動車研究所
★P35	液相におけるコレステロールのオゾン酸化反応メカニズム	飯村 花梨	筑波大学
★P36	Spatial distribution of spontaneous OH radical generation in aqueous microdroplets	吉岡 優花	中央大学
★P37	BVOCと生体分子が共存する水相におけるオゾン反応メカニズム	松田 安天	筑波大学
★P38	In-situ Particle pH Measurement Using a Fluorescent pH Probe	浮島 彩織	中央大学
★P39	ナノスケールの不均一性が存在する水相における α -ピネン由来ヒドロペルオキシドの反応機構	谷口 孝平	筑波大学
★P40	OHラジカルとエチレンオキシドの反応における生成物分析	村上 柊人	東京大学
★P41	CH ₂ OO-気相ヨウ素化学反応による粒子生成への全球影響	若林 颯	東京大学
P42	北極域研究船「みらいⅡ」の紹介	竹谷 文一	海洋研究開発機構
★P43	液相 α -トコフェロールの光反応メカニズムの研究	田代 啓太	筑波大学

P44	2022年12月の地上観測とGEOS-CFによる北日本へのブラックカーボン輸送の事例解析	山下 陽介	国立環境研究所
★P45	海岸漂着プラスチックから放出される揮発性有機化合物の定量および定性評価	黒澤 陽太	筑波大学
★P46	イソプレン由来クリーギー中間体とピルビン酸の反応: 時間分解型吸収分光法による速度定数の決定	小山 峻	北里大学
P47	イソプレン由来クリーギー中間体とピルビン酸の反応: 量子化学 計算/遷移状態理論による速度定数の算出	秦 寛夫	産業技術総合研究所
P48	日本主要都市におけるOWE発生の経年変動とその考察	山口 小雪	気象庁
P49	東京港と小笠原諸島間の客船航路上での小型大気計測器による測定～首都の汚染大気の広がりや遠隔地大気への変化の様子	和田 龍一	帝京科学大学
P50	大阪湾海水から生成された海塩粒子へのHO ₂ ラジカル取込係数の決定	河野 七瀬	近畿大学
P51	関東3地点で観測されたPANs全量の季節性と地域性	松本 淳	早稲田大学
★P52	石英増幅光音響分光法による大気中微量物質の計測	菅原 晶	東京大学
★P53	2.6 μmレーザーによる水蒸気のD/H比測定手法の開発	門田 紳太郎	東京大学
★P54	PERCA法を用いたHO ₂ およびイソプレン由来RO ₂ ラジカルのエアロゾル取り込み測定法の開発	角田 夕陽	近畿大学
★P55	対流圏NO ₂ エアマス因子計算のための深層学習モデルの構築	田中 未恵	東京科学大学/ 情報通信研究機構
P56	地上ミリ波分光観測による中間圏NO高度分布解析法の開発	長浜 智生	名古屋大学
★P57	成層圏水蒸気増大の解明に向けたACE-FTS観測データ解析によるメタン酸化速度の推定手法の構築	山下 由翔	東京学芸大学/ 情報通信研究機構
★P58	スバルバル諸島ニーオルスンにおける大気中のCO ₂ およびCH ₄ 濃度の変動	増田 泉美	東北大学
P59	つくばのFTIRによる世界初となるHFC-125の解析	中島 英彰	国立環境研究所
P60	国内太平洋沿岸域における船舶を用いた短寿命気候強制因子の長期観測	奈良 英樹	国立環境研究所
P61	札幌都市域における朝の時間帯に着目したCO ₂ フラックス推定	稲飯 洋一	気象庁
P62	FTIR観測によるつくばHCl、HF全量に見られる経年変化	村田 功	東北大学
P63	GOSATの観測に基づく二酸化炭素とメタンの全大気平均濃度	佐伯 田鶴	国立環境研究所